

注目議案

- ◆ 深溝、豊坂小学校校舎増築
- ◆ 豪雨被害復旧予算2億6,350万円可決

- 一般質問  
4人の新人議員が登壇  
(8人の議員が町政をたず)
- 委員会レポート  
福祉産業建設委員協議会  
土地区画整理事業の施工状況 他  
総務教育委員協議会  
パートナーシップ制度の導入決定 他
- あい・らぶ・マイタウン



幸田町議会HP

# ぎんが

こんにちは  
幸田



深溝小学校水泳授業  
町民プールで行われる

⇐町民プールに  
到着した児童



インストラクターから⇨  
指導を受ける児童



# 6月 議会の あらまし

会期 6月5日～6月28日

## 議案

- 幸田町火災予防条例の一部改正など単行議案2件
- 工事の請負契約など7件
- 幸田町一般会計繰越明許費繰越計算書など報告3件
- 人権擁護委員など人事案件2件
- 一般会計補正予算（第2号）
- 最終日の追加議案

## 議員提出議案（第3号）

「DX推進委員会の設置」

- 一般会計補正予算（第3号）
- 以上、全て答申・同意・可決した。

## 陳情

9件を審議し、すべて不採択とした。

## 一般質問

8人の議員が町政全般にわたる課題をたじた。

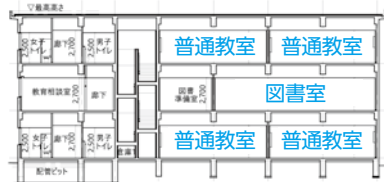
# 深溝小・豊坂小

## 校舎増築工事決まる

増築校舎の正面図



増築校舎の断面図



校舎増築工事が決まった深溝小学校

### 深溝小校舎増築改修等工事

可決

今後の児童数増と、小学校35人学級への対応により、教室が不足するため校舎を増築する。

- 契約の相手方  
竹内建設株式会社
- 工事内容  
鉄筋コンクリート造3階建校舎、鉄骨造3階建渡り廊下等

● 契約金額 5億1700万円

● 日程  
令和6年8月工事完了予定

### 豊坂小校舎増築改修等工事

可決

小学校35人学級への対応により校舎を増築する。

- 契約の相手方  
佐々木建設株式会社
- 工事内容  
鉄骨造平屋建校舎、鉄骨造渡り屋根等

● 契約金額 1億2749万円

● 日程  
令和6年3月工事完了予定

### 図書館外壁及び防水工事

可決

建築後20年が経過し、外壁塗装の劣化、外壁タイル剥離防止のため改修する。

- 契約の相手方  
株式会社マルコオ・ポーロ化工
- 契約金額 6335万5600円
- 日程  
令和5年12月末工事完了予定

### 町民プール外壁及び防水工事

可決

外壁塗装の劣化、外壁タイル剥離防止のため改修する。

- 契約の相手方  
株式会社マルコオ・ポーロ化工
- 契約金額 5830万円
- 日程  
令和5年12月末工事完了予定

### 幸田町火災予防条例の一部改正

可決

急速充電設備の位置、構造及び管理に関して、基準の見直し。  
喫煙等に関する標識の取り扱いの見直し。

**問** 充電設備の町内の設置状況は。

**答** 町内には、普通充電器が道の駅と愛知自動車の2か所に設置されている。急速充電器の設置はない。

**幸田町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正**

コンビニ設置の多機能端末機による印鑑登録証明書の交付を、個人番号カード又は個人番号カード電子証明書機能搭載スマートフォンで受け取ることができるようにするため。

**問** 個人番号カード登録のスマートフォン利用による、個人情報漏洩の懸念は。

**答** 情報漏洩のセキュリティ対策がされている。システムとしての情報漏洩の懸念はない。

**災害対応特殊救急自動車購入**

取得後12年が経過し、走行距離が14万kmを超えるため更新する。

- ・落札業者 愛知トヨタEAST(株)六名店
- ・落札金額 2266万円

一般会計補正予算(第2号)  
2768万2000円追加

**歳入** (主なもの)

- 国庫支出金 2186万2000円
- 繰入金(財政調整基金繰入金) 222万円

**歳出**

- マイナポイント申込支援事業費 362万円
- マイナポイント申し込み期限が、本年5月末から9月末までに延長のため、申し込み経費を計上する。

**問** マイナポイントの申請の見込み人数は。

**答** カード申請者数(3万2510人)と、ポイント既申込者数との差から、最大5000人を見込む。

- 出産・子育て応援給付金(遡及適用者分) 2200万円

令和4年度対象者で、昨年度に給付申請できなかった人へ給付する。10万円150件、5万円140件。



消防団力向上モデル事業委託料 206万2000円

消火活動の基本操作や活動をDVD教材にまとめる。消防団の円滑な活動運営への寄与を目的とする。

一般会計補正予算(第3号)  
2億6350万円追加

台風2号による被災の災害復旧のため、追加補正予算を計上する。

**歳入**

- 繰入金(財政調整基金繰入金) 2億6350万円

**歳出**

- 相見地区排水検討業務委託料 1000万円
- 農業施設災害復旧事業 1億500万円
- 林業用施設災害復旧事業 5750万円
- 道路橋梁災害復旧事業 4500万円
- 河川災害復旧事業 5050万円

人事案件

**答申**

人権擁護委員  
中根 靖夫 氏(里区)

賛否の分かれた議案		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議長	議決結果 (賛成:反対)
議案		議員名	藤本 和美	吉本 智明	野坂 純子	松本 忠明	長谷川 進	岩本 知帆	田境 毅	石原 昇	都築 幸夫	黒木 一	廣野 房男	稲吉 照夫	笹野 康男	丸山千代子	鈴木 久夫	藤江 徹	
第36号議案	幸田町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	—	可決 (14:1)
陳情第2号	ミャンマーの民主活動家に対する死刑執行の即時中止に向けた日本政府の緊急対応を求める意見書の提出を求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—	不採択 (1:14)
陳情第4号 陳情第10号	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情 はじめ7件		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	—	不採択 (1:14)

※議長は賛否に加わることができません。ただし、賛否同数の場合は、可決・否決を決めることができます。

# 一般質問

# 新人4議員も提案 町政を問う

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



## 一般質問事項

質問者	件名	頁
岩本 知帆	1 避難所開設は誰が行うのか 2 ファミリーサポート利用補助を 3 市民団体の認定登録制度作成を	5
吉本 智明	1 児童生徒の支援について考えを 2 獣害対策の実施及び支援を 3 職員の充足は今後どうするか	6
松本 忠明	1 今後必要なリスク管理は 2 信号や歩道の安全要望の対応は	7
野坂 純子	1 インクルーシブ遊具の導入を 2 GPS端末を選べる制度は 3 不登校期間の学習成績の評価は	8
丸山千代子	1 子どもの権利条例の具体化を 2 防火水槽の耐震化整備を 3 河川愛護の草刈り負担の解消を	9
田境 毅	1 通学路安全対策の受け止めは 2 機器導入による防犯対策促進を	10
稲吉 照夫	1 町民大運動会の再開予定は 2 町議選にも選挙公報の作成を	11
藤本 和美	1 有機農業を増やす予定や計画は 2 予約システムの利便性は	12

議会傍聴記・質問議員の顔写真は別撮りしています。

新しい議会の傍聴の機会に接し、町内に於ける数々の問題課題に、議員の



いそべ いちろう  
磯部 一郎さん

元気な町幸田町の未来のために

12年振りの選挙を経て、皆様の対策への取り組み、解決への努力、更に変わりゆく世に見合うきめ細かな事柄への対応をも拝聴できました。次の世代、次の次の世代に到るまでに、美しく豊かな自然と元気な町、住みよい町「幸田町」でありつづけるよう願うしだいで。

議会だよりでは、質問と答弁（各30分以内）を要約してお伝えします。詳しい内容は、会議録を幸田町立図書館で閲覧いただけるほか、幸田町議会ホームページでも公開しています。また、議会の映像はYouTubeで配信しています。



議会映像



過去の議事録



岩本 知帆 議員

# 避難所開設は誰が行うのか

## 公民館などは地元の住民が開設



**問** 南海トラフ地震発生時における、幸田町の被害想定は。総務部長▼住宅の全半壊約1400棟、死傷者約2300人、ライフライン、通信網にも相当な被害がでる。

**答** 幸田町安全テラスセンター24の具体的な活動は。

**問** 幸田町安全テラスセンター24の具体的な活動は。

**答** 各区防災の支援や研修の実施。中学校での防災学習。今年度は、要支援者の避難行動対策に力をいれて行く。

**問** 避難所開設は誰にやって貰うのか。公民館などは地元の住民が開設。

**答** 要支援者の把握状況は。①65歳以上のみの高齢者世帯②要介護3以上の方③第1種身体障がい者、戦傷病

**問** 要支援者の把握状況は。

者手帳所有者④精神障がい者、難病患者で、支援希望者を福祉課において登録する。

**問** 個別避難計画の取り入れ状況は。

**答** 令和4年度、市場区をモデル地区として実施。地域のサポートがあつて個別計画が動く事を痛感。

**問** 救護者になる資格や技術を持った住民の把握はしているか。

**答** 現在はしていない。今後、手法を研究していく。

**問** 誰でも対応できる避難所開設スタートセットの設置は。

**答** 各コミュニティへの設置を検討中。防災研修会や地区の

防災訓練等で説明し、周知する。

**問** テラスセンター24の活動を、幅広い世代に情報提供するための活動は。

**答** 学校での防災教室、福祉施設での高齢者講話、今年度導入するLINEやインスタグラムで啓発して行く。

**問** ファミリーサポート利用補助を導入に向けて前向きに勧める

**答** ファミリーサポートの利用料金の補助をしている愛知県内の自治体は。

**問** 住民こども部長▼47の市町があり、その中で11の市町が利用補助がある。

**答** 子育て支援として生活保護・町民税

**問** 子育て支援として生活保護・町民税

非課税・ひとり親・多胎の各世帯等から利用費補助の検討を。

**答** 他市町の状況を参考に、導入に向けて前向きに進める。

**問** 市民団体の認定登録制度作成を

**答** 他市を参考に研究していく

**問** 文化・スポーツ等町民が活動する団体を把握しているか。

**答** 企画部長▼各課で関係団体やサークル活動を把握している。

**問** 公的な情報提供に向けて市民活動団体認定基準を設けて、登録制度の作成を。

**答** 他市の取り組みを参考に、認定基準や登録制度、支援の方法など研究していく。



ファーストミッションボックス (FMB) とは、誰でも避難所の開設ができるように、初めに (ファースト) やるべき任務 (ミッション) を記載した手順書と、最低限の資材を入れた箱 (ボックス)。



よしもと ちあき 議員  
新人 吉本 智明

# 児童生徒の支援について考えを



## 関係機関と連携を取り支援する

この3年間に児童生徒、先生方の働き方改革のため様々な人材を投入してきた効果について、以下を問う。

**問** 退職養護教諭を雇い入れた効果は。

**答** 教育部長▼計画的に分業でき手厚くケアできる。

**問** スクールソーシャルワーカー、家庭教育支援員の実績は。

**答** 問題の50%改善。学校へ来られるようになったのが18件。

**問** 教育相談室の現状、スクールカウンセラー新設の現状、効果は。

**答** 令和3年度相談件数は3506件、年々増加傾向。スクールカウンセラーにより相談しやすい環境が出来た。



iルームの様子

**問** 校内支援センター（iルーム）設置による居場所作りとは。

**答** 南部中学校と北部中学校にiルームを設置し、心の支援員の常駐で安心できる空間を設けた。

**問** 教育長の児童生徒の支援の考えは。

**答** 教育長▼不登校の新たな一人を生まない、誰一人取り残さないため支援を行う。

### 獣害対策の実施及び支援を

#### 獣害被害の軽減に取り組み

イノシシ被害は深刻である。どう対処しているのか問う。

**問** 今後のイノシシ被害軽減の取り組みは。

**答** 現状の柵設置、捕獲を継続し、被害防止に努める。

#### 職員の充足は今後どうするか

#### 職員条例定数の改正を提案する

町の安全・安心実働部隊である消防本部の組織体制の課題について問う。

**問** 消防職員、車両は足りているか。

**答** 消防長▼職員の充足率は53・7%と県平均より極めて低い。車両は基準を満たしている。

**問** 職員の充足は今後どうするか。

**答** 条例定数の引き上げを令和5年第4



女性消防職員の救急活動

**問** 女性消防職員であるからこそそのメリット、効果は。

**答** 救急搬送の際に対応が優しく、安心して病院へ運んで貰えたとの声を頂いている。

**問** ドローンの配備状況は。

**答** 消防で保有するドローンは1機。

**問** 今後どのようにドローンを活用するのか。

**答** 災害現場において、初動段階での災害現場の把握、被害拡大防止に役立てる。



新人 まつもと ただあき 松本 忠明 議員

# 今後必要なリスク管理は

## 指針策定と改定に取り組む



**社会経済環境が大きく変化**する中、**幸田町の危機管理への取り組みの考え方、進め方を問う。**

**問** 町民目線での危機管理として、防災、国民保護、防犯、交通安全の4つ以外は、

**答** 総務部長▼健康被害、環境危機等が情報提供されている。激変する社会情勢を踏まえ情報提供に努める。

**問** 職員目線での危機管理は。

**答** 職員へ文書を発出し、不祥事防止、交通安全、危機管理等を徹底。また、日常業務で管理職からのOJTや、職員研修でリスク管理の意識向上に取り組んでいる。

**問** 職員のコンプライアンスチェックは。

**答** 職員の分限や懲戒を審査する懲戒審査委員会、健康で快適な職場作りを目指す安全衛生委員会等の組織がある。ハラスメントや情報セキュリティ研修、メンタルヘルスのためのストレスチェック等を実施。

**問** 内部統制は危機管理中心にどのように進めるか。

**答** 町長▼危機管理は内部統制導入有無に関わらず対応すべき。内部統制は国のガイドライン等を参考に、本町の実情に合致したものを構築したい。

**問** 北朝鮮のミサイル発射を踏まえ、組織・体制面での変革は必要ないか。

**答** 平時は部長会等を同じ重要施策の協議及び連絡調整を実施している。有事は指針

に従い、対策本部又はチームを設置して柔軟に対応を進める。

**問** 激変する社会・経済状況の中、今後必要なリスク管理は。

**答** 部課長会議等を中心として、デジタル化、カーボンニュートラルの推進等、将来予測をしっかりと分析しながら、危機管理指針の策定・改定等に向けて、しっかりと積極的に取り組むたい。

### 信号や歩道の安全要望の対応は

### 歩車分離や退避場所確保を検討

交通安全について、地元の鷺田区・新田区に関連する課題を問う。

**問** 令和5年度の歩行者用信号機の設置予定は。

**答** 総務部長▼幸田高校北交差点を予定。

**問** 児童と車両の交錯回避のため、信号機の歩車分離は。

**答** 当該地区は人口増加と共に問題も顕在化が予想されるので、警察署に実情を粘り強く説明し、要望・協議を進める。

**問** 歩道の安全管理面や退避場所に関する要望への対応は。

**答** 建設部長▼安全管理面では、今後も通学状況を見ながら必要な対応を行う。退避場所は、用地確保を進めつつ、側溝に蓋をして歩道を広げる等の代替策を検討する。



通学児童と通勤車両が交錯する鷺田交差点

# インクルーシブ遊具の導入を



野坂 純子 議員



## 前向きに導入に向けて検討する



インクルーシブ遊具で遊ぶ子ども

**インクルーシブ遊具**とは、体が障がいのある子ども、ない子ども、親も一緒に遊べる遊具である。

**問** 本町の認識と設置状況は。

**答** 建設部長▼子どもは、遊びを通じて、身体や精神、情緒、社会性など様々な能力を成長させる。誰もが同じ場所で、楽しむこと

ができるというインクルーシブの観点は、今後の公園整備において、必要な観点であると認識している。

現在のところ、特化した遊具を設置している公園はないが、相見の西屋敷公園（どんぐり公園）には、準じた幅が広い滑り台や車イスで遊べる高さに造られた砂場を設置した。

**問** インクルーシブ遊具を中央公園に導入できるか。

**答** 来年度の中央公園の整備の中で、駐車場からのアクセスも含めて、前向きにインクルーシブ遊具の導入に向けて検討する。

### GPS端末を選べる制度は

利用しやすい事業を研究したい

障がいのある子どもを持つ親が、GPSがあると安心できると話されていた。

**問** GPSを利用した障がいのある子ども見守り事業は。

**答** 健康福祉部長▼特化した支援事業はないが、徘徊高齢者等探索支援事業の対象である知的障害者等に、適用できる。

**問** 問題は。

**答** 子どもが常に携帯するものとしては、適当とは言えないかもしれない。

**問** 利用者がGPS端末を選べる制度など、今後の取り組みは。

**答** 端末機の選択方法、補助金事業への変換など、近隣市町での動向に注視し、アンケート調査の結果も参考に、利用しやすい事業を研究したい。

### 不登校期間の学習成績の評価は

関係機関と連携を図り検討する

**問** 文部科学省は増加している不登校の総合対策「COCCOLOプラン」を策定。その内容は。

**答** 教育部長▼不登校により学習にアクセスできない子どもたちをゼロにすることを目指す。

**問** 不登校期間の学習成績の評価反映はどのような形で進められているか。

**答** 教育相談室へ通う児童生徒と学校外の適切な学習環境であると判断された施設へ登校した場合は、出席扱い。今後も評価について検討していく必要があると考える。

**問** 相談窓口の整備など保護者への支援の今後は。

**答** 児童生徒の状況に応じた社会的自立の支援ができるよう、関係機関と連携を図りながら、児童生徒及び家庭への支援をしたい。





丸山 千代子 議員

# 子どもの権利条例の具体化を

## 子どもの居場所は最重要課題



**問** 幸田町に暮らして育つ子どもたちの最善の利益の保障は。

**答** 住民子ども部長▼ 子どもに最もよいことは何であるかを第一に考えていく。

**問** 子どもの権利を学ぶ機会と、声を聞く場はあるか。

**答** 子どもと大人の合同ワークショップを開催。高校生・中学生が子ども会議で行動目標を発表している。

**問** 子どもが意見を表明しやすい環境を。

**答** 教育長▼児童会、生徒会活動で意見表明する機会がある。まちづくりなど、社会科や総合的な学習ができるよう啓発していく。

**問** 遊びや体験の場、中高生の居場所など、子どもの権利条例の具体化をする施策を。

**答** 住民子ども部長▼ 子どもの居場所は最重要課題。子どもが自分の意見表明する環境を充実させていく。

**防火水槽の耐震化整備を**

**新規の設置は耐震化水槽整備**

**問** 消防水利の基準は。

**答** 消防長▼商業、工業地域は半径100m、住宅地は半径120m以下の設置。消防水槽は、給水能力が常時貯水量40m<sup>3</sup>以上。

**問** 消防水利の充足率は。

**答** 80%。

**問** 防火水槽の全体数と町有地、民地の設置数は。

**答** 207基。町有地94基、民地80基、他33基で全てが無償借地。

**問** 民地の借地解消を。

**答** 過去に区要望で設置した。地権者の意向と区との協議で、借地解消を進めていく。

**問** 老朽化した防火水槽の耐震化整備を。

**答** 非耐震性水槽66基は引き続き点検。新規設置は耐震性防火水槽を整備していく。

**河川愛護の草刈り負担の解消を**

**舗装し草刈り面積を少なくする**

**問** 河川愛護の草刈りが高齢化で負担となつている。現状は。

**答** 建設部長▼河川の草刈りは、河川愛

護活動、土木業者、親切班で対応。近年の問題として、土木業者の人手不足で受注が困難になっている。

**問** 市街化と調整区域の川役の不公平感の解消を。

**答** 1人当たりの草刈りが、市街化は約1m、調整区域は約40m。負担軽減のため、

**問** 河川ボランティアの把握と支援を。

**答** 実態は把握していない。方策を研究。

**問** 水辺に親しむ取り組みのため、尾浜川に親水ゾーンを。

**答** 親水ゾーン設置の手法等を検討する。



ボランティアによる草刈り作業

# 通学路安全対策の受け止めは



田境毅 議員



なるべく早く整備していく



歩道修繕に合わせガードパイプを設置

通学路の安全対策が  
着実に進むための課題  
を問う。

**問** ガードパイプ設置  
計画は。

**答** 建設部長▼県は、  
「小学生40人、通

学路歩道幅2メートル  
未滿で植樹帯の無い歩  
道を、概ね5年以内に  
対策」。町はさらに、  
中学生の通学路も防護  
柵設置を進める。今後  
も基準にとらわれず引  
き続き、協力機関と安  
全対策を進める。

**問** 歩道に関わる課題  
を整理し、次年度  
計画へつなげる考えは。

**答** 課題整理し令和6  
年度整備を検討し、  
取り残される所が無い  
よう把握に努める。

**問** 自歩道化の考えは。  
利用する町民のニ  
ーズを反映した対策に。

**答** 令和4年度通知に  
より自転車は車道  
を通行。自転車通学が  
最も安全なルート選定  
や整備を行う。

**問** 運転者が交通弱者  
を見つけやすくな  
る環境整備、光害対策  
型道路灯導入を。

**答** 横断者を認識しに  
くい場所には照明  
を設置し、町管理道路  
照明は446基。農作  
物や近隣住宅への影響  
などが課題。光害対策  
型街路灯導入を検討し  
県にも要望していく。

**問** 既設カーブミラー  
の視認性向上の取  
り組みは。

**答** 清掃ボランティア  
に頼っている。新  
設は曇り止め機能のあ  
るものを導入し、メン  
テナンス軽減していく。

**問** 歩行者用LED信  
号灯の設置促進を。

**答** 総務部長▼地域要  
望が後押し。  
優先度を見極め、道  
路管理者等と連携し、  
計画的に岡崎警察署へ  
協議し働きかけたい。

**問** 生活道路における  
通り抜け対策は、  
最も増加する交通量を  
基準値に立案が必要。

**答** 幹線道路と生活道  
路を明確に区分し、  
対策することが必要。  
道路管理者等と連携し、  
国県等への要望を含め、  
包括的な交通安全対策  
に取り組みたい。

**問** 通学路の安全対策  
状況に対する町長  
の受け止めは。

**答** 町長▼ガードパイ  
プ設置をなるべく  
早く整備していく。  
県・岡崎警察署等へ  
しっかり要望していく。

## 機器導入による 防犯対策促進を

## 連携した取り組 みを模索

**問** 機器導入による防  
犯対策促進を。広  
域的な取り組みを積極  
的に進めるべき。

**答** 総務部長▼県の取  
り組みを注視し、  
岡崎警察署、岡崎市と  
も連携を模索したい。

**問** 今後ごみ出しマナ  
ー向上カメラの在  
り方の検討が必要では  
ないか。

**答** 環境経済部長▼既  
存のものとの連携  
考慮し、廃棄物対策全  
体の費用対効果を相对  
的に考慮、判断したい。

**問** 位置情報を把握す  
るGPS機器活用  
の考えは。

**答** 総務部長▼DX推  
進で研究したい。

犯罪捜査の高度化・  
効率化に取り組み県と、  
連携が期待される。



いなよし てるお 稲吉 照夫 議員

# 町民大運動会の再開予定は

## 町村合併70周年記念の令和6年



ソフトボールレディース大会でハッスル

**問** 4月から生涯学習課から、文化スポーツ課に課名が変更された。文化・スポーツ活動と事業に、より一層の充実を期待する。

**答** 課名の変更による活動の特徴などは、教育部長▼文化・スポーツを表記することで内容を明確にし、事業の充実を図る。

**問** 町民大運動会を2年間、年度当初から中止した理由は、滞在時間が長くなることから、新型コロナウイルスの感染対策が心配であった。

**答** 町民大運動会の再開の予定はいつ。町村合併70周年記念にふさわしい内容で令和6年に実施。

**問** 町営の各運動場の利用日数は、坂崎314日、とぼね206日、大日蔭129日、深溝76日。

**答** 町営の各運動場の利用日数は、坂崎314日、とぼね206日、大日蔭129日、深溝76日。

**問** 町議選にも選挙公報の作成を必要性は十分感じている

**答** 町議選にも、選挙公報の作成を。総務部長▼県下でも選挙公報発行の条例整理をしている自治体もある。必要性は十分感じている。今後検討。

**答** 住民こども部長▼発表の場に議場を使用する意義、意見の反映など検討していく。

**問** 町長は今回の選挙をどのように受け止めているか。

**答** 町長▼時代に合った新しいまちづくりのために、新しい意見、新しい議会として、町政運営にお力添えをお願いしたい。

**問** とぼねグラウンドは、全体的に石が表面に出てきているが、改修の計画は。

**答** 利用者からの報告で知っている。利用者の安全は最優先。改修を考えたい。

**問** 深溝運動場Aグラウンドは大きな水たまりができる。改修予定は。

**答** 今年度、予算計上。利用状況を考え対応する。

**問** 中学・高校での選挙出前講座の成果が見られないようだが、より効果が得られるよう工夫を凝らし、取り組む。

**答** 子ども会議の在り方をどう考えるか。



新人 藤本 和美 議員

有機農業を増やす予定や計画は

関係機関と連携し取り組み支援



**問** 食料自給率は38%と輸入に依存しており、外国からの肥料、飼料、資材、種に頼らず持続可能な有機農業を選択肢のひとつとする動きが、世界のみならず国内でも高まっている。

**答** 有機農業の本町の取り組み状況は。環境経済部長▼特別栽培米が4名。全体に占める割合は面積で20・6%、出荷量で約9・7%という状況。

**問** 有機農業や有機農産物を増やす予定や計画は。

**答** 具体的な予定や計画はないが「みどりの食料システム法」のもと、農業者や就農希望者の取り組みを支援していく。

**問** 新規就農希望者への支援の内容とは。

**答** 具体的な希望内容の聞き取りを行い、農起業支援センターへ案内する。計画策定段階から寄り添い、就農地の相談も情報提供を行い、サポートを実施している。

**問** みどりの食料システムによって受けられる支援とは。

**答** 認定を受けると設備投資の税優遇や有機農業への変換に必要な経費の補助が受けられる。

**問** 有機農産物を学校給食で使用する考えがあるか。

**答** 教育部長▼給食に対応できる量の有機農産物が地元で作られていることや、価格の確認をしたうえで検討。

**問** 化学肥料の高騰などの影響で環境保全型農業への転換は急

務。持続可能な農業について方針は。

**答** 環境経済部長▼農業者の生産基盤が整ったうえで、有機農業への取り組みや他との差別化を目指すなど、チャレンジする農業者には求められた支援を実施し、地域を巻き込んだ取り組みも展開したい。

予約システムの  
利便性は

1年半が経過し  
改善に努める

**問** 公共施設予約システムの申請件数は合計1万2621件、利用者数は2万8914名だが、予約方法を伺う。

**答** 教育部長▼パソコンやスマートフォンで利用者登録後、中央公民館窓口にてIDを取得。パスワードを

設定し予約可能となる。利用日の3日前までに窓口で使用料を払い、許可書が発行される。

**問** 中央公民館での支払いと許可書の受け取りが可能な日時は。

**答** 午前8時40分から午後6時まで。月曜日は休館。

**問** 予約システムについて町民からの要

望はあるか。

**答** 利用日当日の予約や、使用料のオンライン決済などが要望としてある。

**問** 予約システムの利便性向上について本町の考えは。

**答** 予約システム導入から1年半が経過。改善に努めていく。



テニスコートでスポーツを楽しむ (豊坂)

# 福祉産業建設委員会

協議会  
5月18日

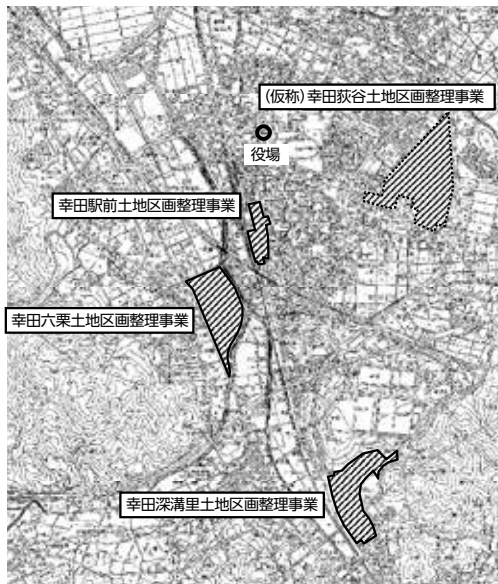
## 土地区画整理事業の 施工状況

3か所の事業概要と進捗率および（仮称）幸田狹谷土地区画整理事業の説明を受けた。

**問** 人口5万人に向けた展望は。

**答** 県の道路事業により沿線の街並みができつつあり、芦谷高力線整備を県事業として立上げる要望をしている。道路安全性を高め、まちづくりを考えたい。

### 三河町村観光交流宿泊施設の利用助成事業



土地区画整理事業によりまちづくりが進むエリア

三河町村間の交流人口を増加させ、まちの活性化を図るため、設楽町、東栄町及び豊根村に所在する対象施設宿泊費用の一部を助成。

**問** 施設数の見込みは。

**答** 設楽町12軒、東栄町9軒、豊根村13軒の中で、幸田町の認めるプランを提供できるところ。

### コンビニ交付サービスの利用状況

令和4年3月から、

マイナンバーカードを利用することにより、全国のコンビニエンスストア等に設置されているマルチコピー機によって住民票の写し、印鑑登録証明書等を取ることができ。セブンイレブン、ローソンなど5店舗で合計3314件の利用。

**問** コンビニ交付システムの障害発生状況は。

**答** 本町が利用している富士フィルムシステム株式会社での障害の情報はない。令和5年1月10日に性能評価および再点検を実施した。

### 高齢者ふれあいプラザの用途変更及び幸田町シニア・シルバーク世代サポートセンターの移転構想

大草広野地区福祉施設構想に併せた施設の

統廃合対象の一つとしており、利用状況や手狭などの課題等を考慮し、高齢者ふれあいプラザを幸田町シニア・シルバーク世代サポートセンターの事務所へ用途変更・改装・移転し、機能の強化を図る。

**問** 大草広野地区福祉施設構想の中で代替スペースができるまでの対応は。

**答** 令和7年4月を目標とし、1年間は老人福祉センターを代替施設に検討している。



事務所転用予定施設

### 幸田町空家等対策計画アクションプラン5年間延伸

**問** 空家の状況は。

**答** 総務省住宅土地統計調査では、平成30年10月1日時点の1万5000戸のうち1020戸程度。

**問** 除却補助制度はどのようなものか。

**答** 一年以上住んでいない住宅でも対応できる。耐震減災補助メニューの除却と同額の30万円。

### 省エネ家電の購入費を補助

エアコン又は冷蔵庫のいづれかについて1世帯1台限り購入及び設置に要した費用（税込）の1/2（上限額5万円）を補助する。（その他4項目を協議）

総務教育委員会

協議会  
5月24日

※  
パートナーシップ制度の  
導入決定



ことば解説  
「※.パートナーシップ制度」  
同性同士が人生のパートナーとして継続的な共同生活を行っている、又は行う事を約束した関係にある事を本人が宣言し、自治体が独自に認める制度。



性的マイノリティの自由な意思を尊重し、お互いの違いを認め合い、誰もが自分らしく暮らせる多様性に富んだ社会の実現を目的とする。

**問** 住民から行政に要望は出ているのか。

**答** い。法的根拠はないので戸籍上変わらない。

**問** 住民票の扱いは。

**答** 病院等にしっかりと周知していく。

**問** 近隣病院等で家族として同意書は書けるのか。

近隣病院等で家族として同意書は書けるのか。病院等にしっかりと周知していく。

二人の関係性を宣誓証という形にすることが出来る。法的根拠はないが家族の形として町営住宅の入居出来る。民間企業にも利用できる制度が出来るように周知していく。デメリットは市町村によりばらつきがあり、受けられるサービスが様々である。

**答** 二人の関係性を宣誓証という形にすることが出来る。法的根拠はないが家族の形として町営住宅の入居出来る。民間企業にも利用できる制度が出来るように周知していく。

**問** パートナーシップのメリット・デメリットは。



幸田駅前の自転車も通行できる歩道

**問** 幸田駅前の歩道内における自転車の

幸田駅前の区画整備により自転車も通行できる歩道が設置された。

歩く人・自転車に乗る人の交通安全対策

**答** 特にないが、幸田町として多様性を認めていく中で制度化していく。

**問** 新たに運転者に対する啓発看板を設置。

3者で協議をして新たに運転者に対する啓発看板を設置。

**問** 令和4年美合幸田線大草地内で死亡事故が起きたが警察・道路管理者・防災安全課が行った対策は。

**答** 通行方法は。安全に歩道を自転車で走る時のルールの周知をしていく。

**答** 令和3年度は、幸田3445人、三ヶ根821人、相見1313人。(その他10項目を協議)

**問** JR3駅の1日平均乗車客数の実績は。

**答** 令和3年度は、コロナ禍の影響を強く受けた令和2年度に比べ、概ね数値は回復している。

**問** 目標値に対する実績はどうか。

**答** 年度ごとの重要業績指標 (KPI) の中間評価及び実績評価をしている。

**問** 総合戦略推進委員会とは、どのような会議体か。

幸田町まち・ひと・しごと総合戦略

# 政務活動費 のゆくえ

政務活動費とは、議員が通常の議会活動とは別に、それぞれの会派または議員個人が議員としての知識向上や見聞を広めたり、資質向上を図るために交付される調査研究費です。

令和4年度の交付額は1人年額12万円。先進地への調査や研修会への参加、議員活動に必要な事務機器の購入等に使っています。収支報告書には証拠書類などの写しを添えて報告しています。

交付額を超える事業費は、会派もしくは個人負担です。

## 令和4年度の主な使途は、次のとおりです。

会派	所属議員名	事業費	交付額	主な使途	活動内容等
幸風会	杉浦あきら 笹野 康男 藤江 徹 廣野 房男 黒木 一 鈴木 久夫 都築 幸夫 石原 昇	972,183円	960,000円	【調査旅費】 長崎県島原市	・長崎県島原市「防災の取り組みについて」
正風会	稲吉 照夫 伊澤 伸一	171,789円	240,000円 (内68,211円返還)	【調査旅費】 滋賀県彦根市、京都府京丹波町、奈良県橿原市 【資料費】 書籍購読料、プリンターインク	・彦根市「子ども若者プラン」 ・京丹波町「道の駅 味夢の里」 ・橿原市「曾我川緑地公園」 ・購読料「地方議会人」
—	丸山千代子	136,662円	120,000円	【調査旅費】 正風会と同じ 【研究研修費】 自治体学校in松本 【資料費】 書籍購読料、書籍購入費	・自治体学校in松本「大規模災害に備える自治体の課題」他 ・年間購読料「住民と自治」 ・書籍「再生可能エネルギーと環境問題」「自治体DXでどうなる地方自治の近未来」
—	水野千代子	33,257円	120,000円 (内86,743円返還)	【資料費】 書籍購入費、プリンター用紙、プリンターインク	・書籍「共生のユニバーサルデザイン」「ペットの命を守る本」「犬と一緒に生きる防災BOOK」「条例・規則作成の手引」「社会の変え方」他
—	田境 毅	172,380円	120,000円	【調査旅費】 正風会と同じ 【研究研修費】 全国市町村国際文化研修所 【資料費】 書籍購読料、プリンターインク等	・町村議会議員研修「防災と議員の役割」 ・町村議会議員特別セミナー（オンライン） ・年間購読料「日経ビジネス」「中日新聞」
—	足立 初雄	83,595円	120,000円 (内36,405円返還)	【調査旅費】 正風会と同じ 【資料費】 プリンターインク	・彦根市「子ども若者プラン」 ・京丹波町「道の駅 味夢の里」 ・橿原市「曾我川緑地公園」

### 議会広報特別委員会

委員長 田境 毅

副委員長 廣野 房男

委員 都築 幸夫 岩本 知帆 長谷川 進  
野坂 純子 吉本 智明 藤本 和美

### 幸田町議会だより No.189 2023.7.26発行

発行・編集 ● 幸田町議会 議会広報特別委員会  
発行責任者 ● 議長 藤江 徹  
〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1  
TEL (0564) 63-5151 FAX (0564) 63-6970  
Eメール gikai@town.kota.lg.jp  
幸田町ホームページ <http://www.town.kota.lg.jp/>

## 議会を傍聴してみませんか

【場所】 役場5階 【時間】 午前9時から

### 【9月定例会の予定】

9月 1日(金) 開会、議案の説明  
5日(火) 一般質問  
6日(水) 一般質問  
11日(月) 議案の質疑  
12日(火) 議案の質疑  
14日(木) 決算特別委員会  
15日(金) 決算特別委員会  
20日(水) 福祉産業建設委員会  
21日(木) 総務教育委員会  
25日(月) 議会運営委員会  
27日(水) 討論、採決、閉会

日程は変更される可能性があります。一般質問、議案の質疑については、幸田町議会ホームページで公開していきますので、ぜひご覧ください。

詳しくは議会事務局へ TEL63-5151 (直通)

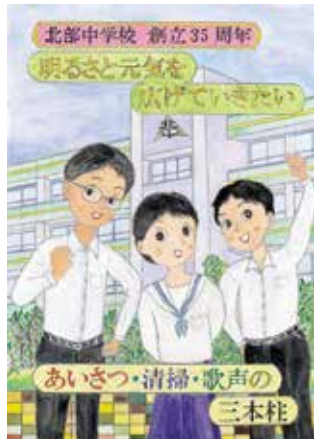
## 今度は僕たちが 幸田町に

北部中学校2年  
こんどう こうき  
近藤 光起さん



僕は、幸田町で生まれて幸田町で育ちました。幸田町は自然豊かな町です。毎朝登校するときに見える景色は緑が多く、心が休まり、朝から僕たちに元気をくれます。そんな幸田町が僕は大好きです。

北部中学校は、今年度創立35周年を迎えます。そして、誇れる北中生となるため、「あいさつ・清掃・歌声」を三本柱として、先輩方から引き継いできました。昨年度までは、制限の多い中でしたが、三本柱を高めてきました。今年度は、再び新型コロナウイルス流行前の日常を取り戻しつつあります。大変な時期に支えてくれた幸田町に、今度は僕たちが三本柱を通して、明るさと元気を広げていきたいです。



## 素晴らしい 自然豊かな幸田町

坂崎小学校6年  
にしお もな  
西尾 桃寧さん



わたしの生活の中には、自然を感じさせるものがたくさんあります。家の近くの池にいるカモの親子や登校中によく見るシラサギ。夏の夜に窓を開けると聞こえてくるカエルの合唱。家族と近くの川でエビや魚を捕まえたり、里山に登ってきれいな景色を見たりするなど、今まで自然にふれあう体験をたくさんしてきました。こんなに多くの自然が感じられる幸田町が、わたしは大好きです。

だから、この素晴らしい自然を守っていくために、自分にできることは何かをよく考えます。まずは、ごみ拾いや節電に心がけて地球温暖化を防ぐことが、町のためにもなると思います。

わたしたちの幸田町がますます自然の多い、魅力的な町になるよう、自分にできることをがんばっていききたいです。



## ぼくの町、幸田町

豊坂小学校6年  
あべ けいや  
安部 圭矢さん



ぼくは、幸田町で育ってきてよかったと思っています。それは、都会では見られない風景がたくさんあるからです。家の近くの山へ家族や友達と登りに行ったこともあり、とても楽しい思い出になっています。ぼくの通う豊坂小学校には、ビオトープに、池、川、田んぼなどがあ

り、たくさんの自然に囲まれています。休み時間になると、友達と虫をとったり、ザリガニをつかんだりして遊ぶことがあります。夜になると、気持ちのよい空気、きらきらかがやく星。ぼくの大好きなこの自然を、いつまでも大切にしていきたいと思えます。

